



銭亀沢



【重点教育目標】

確かな学びを通して、自分らしく豊かに生きる生徒の育成

「確かな学びの成果を見ました」

校長 橋本 智也

令和6年度の「銭中祭Ⅱ」を行いました。沢山の保護者の皆様、地域の方々にご観覧いただき、たいへんな盛況となりました。発表に対しても大きな拍手をいただきました。本当にありがとうございました。



銭中祭Ⅰ（体育部門）と同じく、生徒たちは何役も役割をこなしていました。各学年の総合的な学習の時間の発表では、調べたり聞いたりしたことをまとめた内容の他、前後に楽しく面白い寸劇を加えていました。運営委員会企画では、「世に発表されている様々な事実を実際に検証」しました。この2つの発表だけでも沢山の台詞や動きなどがあるため、覚える量はかなりのものだったと思います。その他にも、開・閉祭式や全校合唱、有志ステージなど、生徒によっては、次から次へと出番が続きましたが、全てをそつなくこなす様子には、たいへん驚かされました。

ご来賓の方からも、「表現力が高く機転の利く生徒ばかり」とのお褒めの言葉をいただ

きました。

そして、さらなる驚きの場面がありました。それは、幕間が予定よりも長くなった時に、司会の生徒が場つなぎとしてフリートークを求められた場面です。突然の役回りでしたが、適切に受け答えし、すぐに趣味にまつわるトークをしてくれたのです。大勢の人を前にして、その場にあった話題を選択し、わかりやすく話す、素晴らしい対応ぶりでした。

さて、この場面ですが、あらかじめ予定されていた司会原稿を読むということが、会場の皆さんを楽しませる内容のトークへと急激に高度なものを求められたわけです。しかし、「変化対応力」を身につけていた生徒は、物事を柔軟に考え、環境や物事の移り変わりに素早く対応してくれました。

学校では、今年度の重点教育目標「確かな学びを通して、自分らしく豊かに生きる生徒の育成」に向け、各教科の授業や生徒会・学校行事等の教育活動において、個々の良さや強みを引き出し広げ、たくましく生き抜く力を育成してきました。また、様々な場面で意見や感想の発表を求めてきたことで、全体の場においても臆することなく発言することができるようになってきました。

このように、「変化対応力」をはじめ「確かな学び」を重点として取り組んできた成果が、「銭中祭Ⅱ」を通して表出されました。確かな学びをの成果を見た1日でした。

10月行事予定

1日(火) 後期開始 生徒役員選挙
 7日(月) 認証式 専門委員会
 9日(水) 研修日 一斉下校
 10日(木) 実力Bテスト(3年生)
 11日(金) ALT来校日 一次産業体験(2年)

15日(火) 冬服登校開始・議案審議
 16日(水) 専門委員会
 17日(木) 職場体験(1年生給食なし)
 23日(水) 生徒総会
 24日(木) 家庭学習強調週間
 25日(金) ALT来校日
 29日(火) 函館街づくり講演会(2年生)
 *11月2日(土)
 銭亀沢小学校カルチャーフェスティバル



最上級生として力を見せてくれました。
 後輩たちにエールを送り
 締めくくりました。

穏やかな秋晴れの下、おかげさまで銭中祭Ⅱを行うことができました。生徒たちの笑顔が輝く1日でした。保護者のみなさん、地域のみなさん、ご協力ありがとうございました。



生徒の皆さんは8月から、文字通り「汗を流しながら」がむしゃらに銭中祭Ⅱの成功に向けて努力してきました。この銭中祭Ⅱに向かって重ねた努力によって手に入れた『確かな学び』は『自分らしく豊かに生きる』力の礎となり、生徒の皆さんの更なる飛躍を後押ししていくものと願っております。また支えてきてくださった保護者の皆さん・地域の皆さんに改めて感謝申し上げます。また、今後ともよろしくお願いたします。

<クマ被害防止対策ご協力いただきありがとうございました>

8月から長きにわたり、登下校の送迎等ご協力いただきありがとうございました。関係機関の指示を受け、すでにお便り等でお知らせしました通り、通常の登下校の体制に戻りますが、日も短くなっており、防犯の観点からもお子さんを「早朝や日没後などには単独で行動させない」、「登下校の際はなるべく複数で行動する」、「可能な時は保護者の送迎で登下校していただく」など、引き続きご協力をお願いいたします。